

【貸付地の現状視察を兼ね水力発電用ダム施設等を見学】

当署管内貸付地には、新冠川、静内川を活用した地域のクリーンエネルギー(認可出力約58万kW)として水力発電施設があり、今回(12月19日)その現状視察と森林との関わりを学ぶため、北海道電力静内水力センターの案内で、ダム等を見学しました。

まず、静内水力センターで、設備概要等の説明を受け、【新冠川支水路取水口】→【岩清水ダム】→【春別ダム】→【春別発電所】の順に見学しました。

【新冠川支水路取水口】では、実際に橋の上から取水口を見学し、日頃ダム等を見る機会のない当署職員からセンター職員の方へ、「集中豪雨等でダムが一杯になったらどうするのか?」「逆にダムが枯渇したらどうなるのか?」「ダム周辺の森林を伐採したらダムの保水にどう影響するのか?」等熱心に質問していました。



新冠川支水路取水口

【岩清水ダム】では、実際発電のために取水している状況は直接見られませんが、

高低差30mより更に上のダム上部の巻上機・橋梁から見た上流・下流の景色と、ダムの内部の監査廊まで見せていただきました。



岩清水ダム

昼食後、【春別発電所取水口】を見てから、現在のような高度な測量技術の無い当時の技術でも、わずか数cmの誤差で貫通した全長4.3km新冠川支水路の出口に当たる春別

調整池にある【春別ダム】を見て、さらに、【春別発電所】では、水車や発電機を見せていただきました。

日程上、4箇所の見学に終わりましたが、ダム施設だけでなく、川の取水口からの水路や調整池などによる水の循環利用に感銘するとともに、その水の確保のための森林整備を促進することを全員しっかり心に留めました。

また、機会があれば、他の職員にも、森林とダムの関わりが理解できる、このような見学会を企画していきたいと思います。



春別発電所取水口